

# みくろんど

JA全農えひめ情報

2021

8  
Aug.

Sep.

9

特集

愛媛県JA農機協同事業体設立

JA全農えひめ





▲松山市荏原地区にある橘さんの露地栽培園地



▲水が豊富な荏原地区は古くからなす栽培が盛ん



▲県外にも「伊予なす」の名で出荷されている



▲橘さんは伊予なす以外にタマネギ、キュウリ、キウイフルーツ等、200aの畑で多品目を栽培

# 伊予なす

(松山市)

伊予なすは果皮が濃黒紫色で色つやが良く、肉質はきめが細かく、様々な調理に活用できる太長なすです。品種は「筑陽」<sup>ちくよう</sup>、愛媛県内で最も多く栽培されているなすで、JAえひめ中央がその6割を占めています。

JAえひめ中央伊予ナス部会長の橘雅文さんは松山市内で露地10a、施設7aの伊予なすを作っています。陽が沈めば終業する生活を求め、10年前にCVS経営から農業の道に転じました。最初は失敗の連続、多くの細かい作業を効率化したり、力の入れ加減のバランスをつかむのも手さぐりで。しかし元プログラマーの橘さんはデータ組み立ての如く農作業の組み立てを考えるのも性に合い、農業が機械化・デジタル化に向かう中でも人の手が必要である面白みや、努力は報われること等を感じ、「畑に住みたいくらい」伊予なす作りにぞっこんになりました。

7・8月、九州地方の施設栽培「筑陽」の出荷が減り、露地栽培の伊予なすが最盛期を迎えると、選果場はさらにフル稼働。品質の良さに定評があり安定価格で関西方面へも出荷されます。橘さんにとっても最大の喜びの時です。「きれいな果実がたくさん取れば収入に直結します。将来的には年中作れるよう施設栽培を増やしていきたい」。さらに、「地域農業においても若者の就農と生計の安定が必要だ。また、選果場の稼働率向上は雇用につながります」と日に焼けた笑顔から広く農業を見据える部会長の顔がのぞきます。

# あぐり〜ど

2021年8-9月号

## CONTENTS

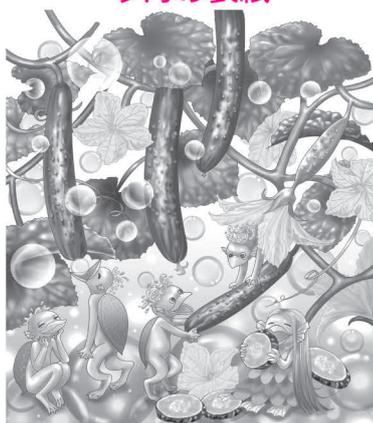
### 全農グループの経営理念

私たち全農グループは、  
生産者と消費者を安心して結ぶ  
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

### 今月の表紙



みずみずしくて、さわやかな香りの新鮮なきゅうりができました。きゅうりが大好きなかつぱも、きゅうり畑でごきげんさん。きゅうりの90%以上は水分なのだそう。食欲が細る灼熱地獄の暑い夏、私たちもとれたてきゅうりをひんやり冷やして、シャキッと食感でいただいで、カラダもココロもシャキーン☆ と夏を乗り切りましょう。

●表紙：きゅうりとかつぱ  
はら ふみ（イラストレーター）

※『あぐり〜ど』は、「愛媛農業 (Agriculture)」を「リード (Lead) する」という意味と「心をつににする (Agreed)」という意味を込めています。

農の風景Vol.223

## 伊予なす

2

〈特集〉

### 愛媛県JA農機協同事業体 設立

4

THE・ねっとわーく

7

トピックス

8

ふるさと ESSAY VOL.291

### ついに始めました！ 家庭菜園

岡内 ひかりさん

11

TOPIC NEWS

16

READERS通信

NOW NOW COOKING

〈今月の素材〉 **なす** (伊予なす、松山長なす、絹かわなす)

### JA全農えひめ

ホームページ  
<http://www.eh.zennoh.or.jp>



- お取り寄せ・JA全農えひめ直販ショップ  
<https://www.ja-town.com/shop/c/c7201/>  
※愛媛の旬の農産物と加工品をお届けします！
- JA全農えひめ「えひめの食」企画  
<http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimemosyoku/>  
※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。
- ◆株式会社えひめ飲料  
<http://www.ehime-inryo.co.jp>
- ◆JAえひめアイパックス株式会社  
<http://ai-pax.jp/>
- ◆JAえひめフレッシュフーズ株式会社  
<http://fresh-ranran.jp/>
- ◆株式会社ひめライス  
<http://www.himerice.jp/>
- ◆JAえひめエネルギー株式会社  
<http://www.ja-ehimeene.co.jp>
- ◆JAえひめ物流株式会社  
<http://www.jat-ehime.co.jp/>

## 愛媛県JA農機協同事業体 設立

### 県内の農機事業体制強化を!!

#### 経過・目的について

愛媛県のJA農機事業においては、農機専任管理者不在のJAもあり、事業管理体制にばらつきがあります。また、農機担当者が農機推進と修理整備を兼務しており業務効率が悪く、さらに農機担当者の高齢化や農機センターの要員縮小など様々な課題に直面しています。

そこで、県内の4JA（JAうま、JAえひめ未来、JAおちいまばり、JA今治立花）とJA全農えひめで愛媛県JA農機協同事業体を構築。事業全体の施設・要員見直しによる組織運営の効率化や、組合員が求めるアフターサービス等の充実、商品提案力の向上等を図り、収支の改善を目指します。

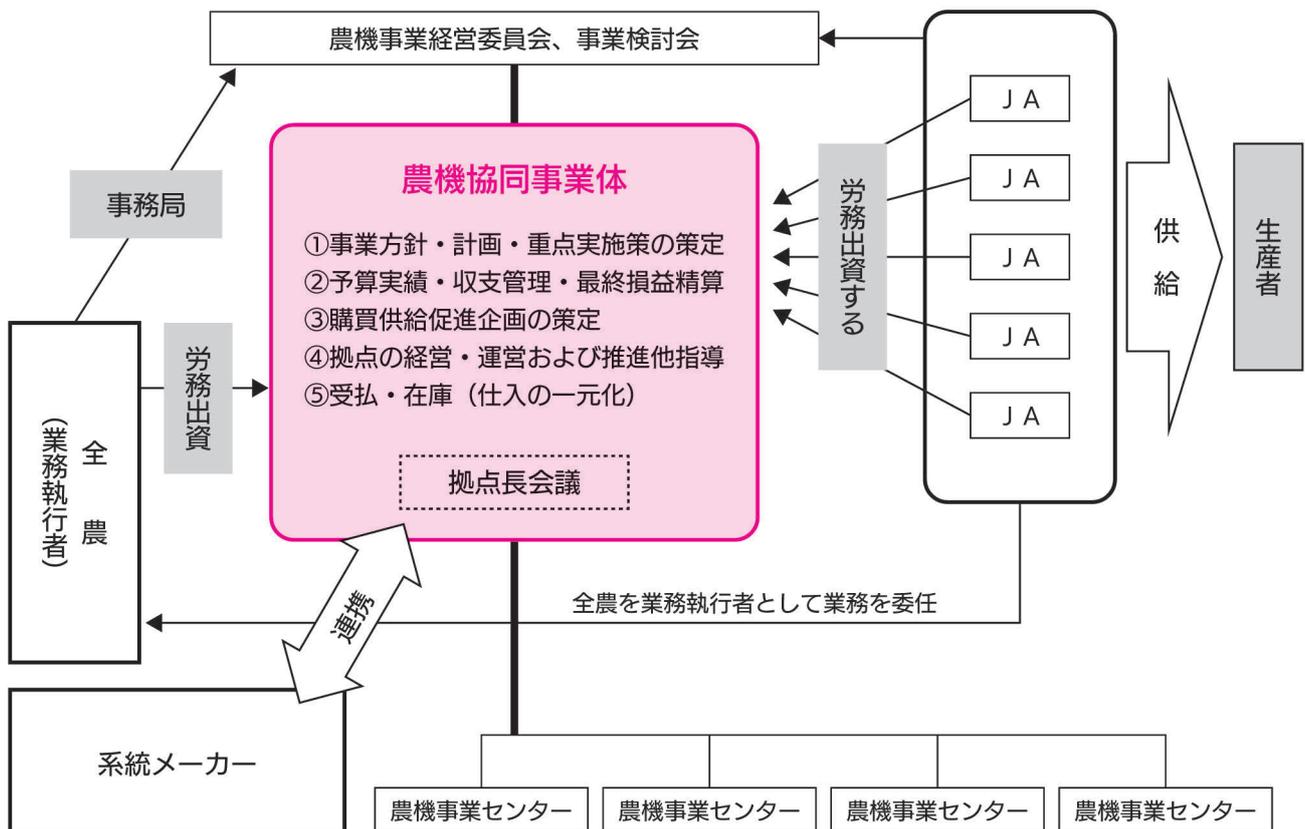
#### 愛媛県JA農機協同事業体とは

愛媛県JA農機協同事業体は、上記4JAと全農双方の労務出資により組成された事業体です。事業体の特徴は次の通りです。

#### 愛媛県JA農機協同事業体の特徴

- 農機事業運営に関する業務執行者は全農とし、各拠点は全農機構に加える。
- 機構は、JA側でも存続し、収支は労務出資割合で配分。
- 指揮命令の統一およびJA担当者の専任化を図るためJA職員は全農へ出向。
- 在庫は全て全農在庫として管理。
- 本県独自の強みである井関との一元提携に基づく事業連携を継続し、また、事業体でも有効活用する。

### JA・県域農機一体運営方式（共同方式）イメージ図



## 愛媛県JA農機協同事業体の取り組み

運営管理の一元化と事務処理の効率化

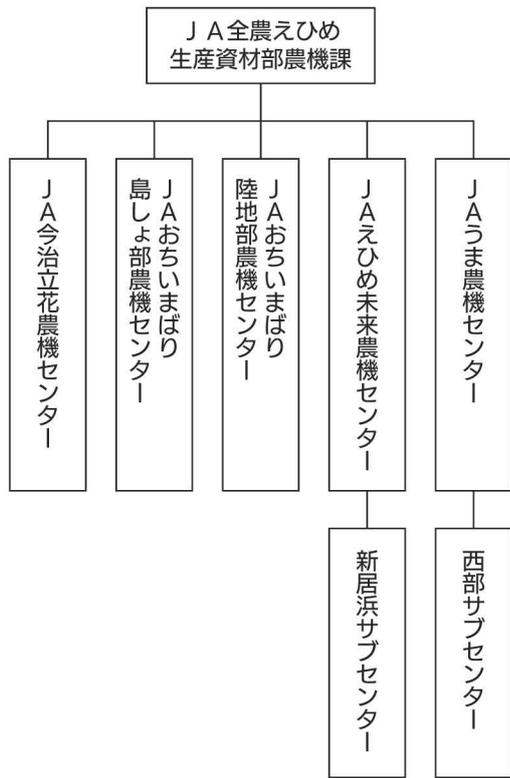
### 1. 持続可能な農機事業体制の確立

- (1) 各JA農機センターの再配置とサブセンターの設置（農機センター5拠点、サブセンター2拠点）
- (2) 拠点別専任管理者・推進担当者・修理整備担当者を明確にし専任担当化
- (3) 規定・規則に基づく内部統制・コンプライアンス態勢の構築
- (4) 一体運営システム導入による

### 2. JA間格差の統一

- (1) 拠点長会議（月次）・役員を含めた事業検討会（四半期毎）による事業の進捗状況の共有化
- (2) エリアマネージャー配置による進行管理強化
- (3) 拠点内チーム編成および相互協力による職場環境の改善
- (4) 人材育成計画策定による計画的な研修会への参加と県単独研修会の開催

## 愛媛県JA農機協同事業体 構図



## 取組実行具体策

- (1) 一体運営による収支均衡に向けた要員1人当たりの生産性目標の設定
- (2) 組合員対応
  - 推進担当者の専任化による保有台帳・見込農家リストの整理・活用した統一的な訪問活動
  - 訪問活動・DM等による新製品情報の発信・定期点検などの促進
  - フロント体制の構築による修理対応の迅速化
  - 格納点検整備や事前点検強化によるトラブル解消
  - 中古統一基準（価格・加修）の徹底による良質な中古農機確保と中古情報の提供
- (3) 製品
  - 推進担当者による修理業務は原則組合員訪問活動時の庭先修理とし、時間を要する修理は拠点に持ち帰り修理担当が対応
  - 業務の専任化により、組合員訪問活動を強化し組合員満足度向上および利用率向上を図る。
- (4) 中古農機
  - 中古情報の共有化と集約一元管

## 今後の展望

愛媛県JA農機協同事業体について、他の県内JAの参加を呼びかけ更なる拡大を目指します。10年・20年先の愛媛県農業がしっかりとした農機事業のもとで継続できるよう、県内JAと連携し、愛媛農機事業の機能強化を図っていきます。

- 理の仕組みを構築し、分量確保と収益向上を図る。
- 中古査定は、中古農機査定士がおこない、適正な査定価格の統一を実施
- (5) 修理整備
  - フロント体制の構築による効率的な修理・整備、推進との連携
  - 統一料金の設定と収受（工賃、油脂料、出張料等）
  - 使用前・使用后（格納）点検の定型化



# ねつとわーく

## 「会員代表者会を開き 令和2年度事業を報告」

### 管理部

J A全農えひめは、6月29日、松山市のJ A愛媛で会員代表者会を開き、令和2年度の事業報告を行いました。

■令和2年度事業報告  
県本部の取扱高（総供給販売高）

【表1】J A全農えひめ 令和2年度取扱高実績（事業分量）  
（単位：百万円）

部 門	計 画	実 績
営 農 食 糧 部	2,755	2,047
園 芸 部	43,348	40,599
畜 産 部	10,558	10,691
生 産 資 材 部	11,202	9,985
生 活 部	13,770	9,596
合 計	81,633	72,919

【表2】J A全農えひめグループ会社 令和2年度取扱高実績  
（単位：百万円）

会 社 名	計 画	実 績
㈱ え ひ め 飲 料	23,986	21,235
J Aえひめアイボックス㈱	4,017	3,973
J Aえひめフレッシュフーズ㈱	3,094	2,935
㈱ ひ め ラ イ ス	4,755	4,254
J Aえひめエネルギー㈱	2,884	2,610
㈱ え ひ め フ ー ズ	590	568
J Aえひめ物流㈱	6,508	6,331
合 計	45,833	41,906

【表3】令和2年度 全農愛媛県本部表彰  
【J A表彰】

周桑農業協同組合
愛媛たいき農業協同組合

【特別功労表彰】※カッコ内はJ A名

森 康弘（おちいまばり）	大政 真（松 山 市）
久保井 誠（えひめ中央）	土井内哲朗（えひめ中央）
伊藤 健二（えひめ南）	武田 大志（えひめ南）

【優良職員表彰】※カッコ内はJ A・会社名

小池 俊行（おちいまばり）	柚山 竜一（おちいまばり）
弓立 宜史（松 山 市）	河野 勇紀（えひめ中央）
河野 晃範（に し う わ）	藤原 誠（に し う わ）
河野 竜二（ひがしうわ）	松本 幸治（えひめ南）

は、全体で計画比91%の834億8,217万円となりました。総供給販売高から本部間販売・内部販売を除いた事業分量は、729億1,932万円です。計画を729億1,932万円下回りました。各部別の概況は次の通りです。

【営農食糧部】主食米の販売数量減少により取扱高が減少。

【園芸部】温州みかん・いよかん等の柑橘類や玉ねぎ・洋菜類等の販売数量減少により取扱高が減少。

【畜産部】豚熱ワクチン接種のための種豚前倒し供給や和牛出荷頭数増加で取扱高が増加。

【生産資材部】農機部品の数量は増加したものの、果実・ジュース段ボール、肥料農薬、主要農機の供給数量が減少し、取扱高が減少。

【生活部】ギフトなどの生活用品、

メモリアル関連品および食品の販売不振、ならびに農業施設関連工事の減少により取扱高が減少。

また、県本部グループ7社の売上高合計は、計画比91%の419億559万円となったこと等を報告しました。

また、同日に各連合会表彰式が実施される予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大を受け中止となりました。J A全農えひめ関係の受賞者は左表のとおりです（敬称略）。

## 県内JA新トップ紹介



JAうま

代表理事組合長  
(令和3年6月24日就任)

ごうだ ひさし  
**合田 久**

### ■略歴

- ・昭和57年 豊岡農業協同組合 入組
- ・平成8年 合併により うま農業協同組合
- ・平成27年 同組合 退職
- ・平成27年 同組合 常務理事
- ・平成30年 同組合 代表理事専務
- ・令和3年 同組合 代表理事組合長

## グループ会社 常勤役員の改選について

JA全農えひめのグループ会社7社は、6月21日に株主総会・取締役会を開き、新役員体制を決めました。役員改選の内容は下記のとおりです（カッコ内は前職）。

### (株)えひめ飲料（6月21日付）

- 代表取締役社長（常務取締役）道上 久司
- 【退任】山本 卓治（代表取締役社長）
- 代表取締役専務（常務取締役）芝 亮介
- 【退任】川田 永治（代表取締役専務）
- 常務取締役（管理本部長）中矢 琢

### JAえひめアイパックス(株)（6月21日付）

- 専務取締役（管理本部長）塩崎 洋章
- 常務取締役（参 与）嶋田 浩志
- 【退任】森川 威久（常務取締役）

### (株)えひめフーズ（6月21日付）

- 代表取締役社長（参与）平岡 正樹
- 【退任】富永 浩司（代表取締役社長）

※JA全農えひめグループ各社の令和3年度役員体制（非常勤含む一覧表）については、10-11月号で掲載予定です。

# 令和3年度 新規採用職員紹介

管理部企画課

かげうら あおい  
影浦 葵



専門知識を身につけ、一つ一つの仕事に丁寧に取り組むことで、安心して任せられると言っ

ただける職員になれるよう頑張ります。

営農食糧部食糧生産課

さいとう けいた  
齋藤 圭汰



1年目は吸収することや、覚えることが多いと思いますが、受け身ではなく積極的に業務を

行っていき、頼れる職員になりたいです！

園芸部果実課

みずた とうが  
水田 東我



日々の業務に積極的に取り組み、1日でも早く成長した姿をお見せ

できるよう頑張ります！

園芸部野菜花卉課

しのはら あつや  
篠原 淳也



先輩職員の背中を見ながら「追いつけ追い越せ」の精神で頑張ります。まだまだ未熟者ですが、小さな積み重ねがいつ

か大きな一歩になると信じて日々の業務に真剣に取り組んでいきます。

園芸部直販課

よしのうち こはく  
芳之内 瑚白



全農職員としての自覚と責任を持ち、一日でも早く戦力となれるよう多くのこ

とに挑戦していきます！

生産資材部肥料農薬課

さとう けいた  
佐藤 圭太



失敗を恐れず何事にも積極的に挑戦し、周りの方から頼られる人物

になれるよう日々精進します。

愛媛施設農住事務所

しげのぶ ただし  
重信 匡志



まだまだ未熟ではありますが、皆様のお役に立てるよう知識や理解を深め、日々業務を

一生懸命に取り組んでいきます！

生産資材部段ボール工場製造課

さかもり ゆうひ  
坂森 勇飛



自分自身の技術の向上とともに、工場内での作業スピードも向上させ、よりクオリティ

の高い働き方を目指したいと思います。

生産資材部段ボール工場製造課

なかむら まなや  
中村 愛也



1日でも早く機械の使い方を覚えて機械トラブルがあっ

たときなどスムーズに解決していきたいと思

## 「えひめの食」企画「JA全農えひめ／えひめ愛フード推進機構 Presents “えひめ” をいただきますーす！」が南海放送でスタート！

JA全農えひめ「えひめの食」企画の令和3年度広報番組(えひめ愛フード推進機構と共同提供)が、8月から南海放送でスタートします。

番組では「愛」あるブランドを中心とした、“愛媛の美味しいもの”に焦点を当て、旬を迎える農畜産物の美味しさや生産者の想いなどを発信します。

番組で紹介しきれない内容は、YouTubeやSNS、えひめの食HPを通じて幅広い年齢層に発信。愛媛県産農畜産物のファンづくりや購入意欲促進を図り、さらなる消費拡大に繋がります。

8月は、ピーマンやなす、トマト、きゅうりといった愛媛県産夏野菜の魅力を紹介！また、8月以降の放送予定は下表のとおりです。ぜひご覧ください！

放送予定	品 目
8月8日	ピーマン、なす、トマト、きゅうり
10月17日	栗、柿
11月14日	ひめの凧、伊予美人
12月	はだか麦加工品、伊予牛「絹の味」ふれ愛・媛ポーク、紅まどんな
2月	甘平、せとか、紅い掬

えひめ愛フード推進機構・JA全農えひめ presents



### 放送局：南海放送

「JA全農えひめ／えひめ愛フード推進機構Presents “えひめ” をいただきますーす！」

日曜日16：15～16：30（8月から翌3月までの間で全5回）



▲8月に登場するなす農家の川端正仁さん



えひめの食HP



「えひめの食」インスタグラムも  
よろしくお祈いします♪

# ふるさと ESSAY

# Vol.291



## ついに始めました！ 家庭菜園

前回の寄稿から、趣味が一つ増えました。『家庭菜園』です！

テレビ番組『元氣！ えひめ農業』を担当させていただいて1年半。ついに野菜を育て始めました！ 今朝も家を出る前に、水をあげてきました。新たな日課にワクワクしています。家庭菜園と言いましたが、わりと気合いを入れていまして：畝を作つての農作物の栽培です。ひとまず三畝。ある日思いついた勢いで、知り合いに耕運機を借りて、芝の生えていた家の庭を耕しました。今は夏野菜(トマト、キュウリ、オクラ)と、ハーブやベビーリーフ等の葉物、さつまいも、枝豆を植えています！ 最近の休日は、苗屋を数軒回って植えて：の繰り返しです。次は種から育てたいのと、スーパーではあまり見ないような作物を育ててみたいのです。まだ第一弾もできていないのに、試してみたい事は次々と出てきます。

まずは順調に育つてくれますように！！

このように家庭菜園を始めるに至つたのは、番組を通して持っていた農業への興味に加えて、周りの影響があります。何か楽しいことをしようと、知り合いが農園を始めたのです。そして、私も途中から作業の手伝いをするようになりました。最初に植えたのは、モロヘイヤ！ 何かを植えたのは小学校の授業以来でしょうか：無事に成長し、沢山の葉を摘むことができました。感激です。他にも様々な作物が収穫できて、これは嬉しい！ 楽しい！ …と、ここで思い立ち、家の庭を耕すことになったワケです。ここ数ヶ月の話です。作業の中で、最初は用途さえも分からなかった草刈機や耕運機の使い方も教えてもらって、庭の畝も何とか形になりました。そういえば高校生のときに、庭を畑にしたいと家族に言い、即座に断られたこともあったなあ：まさか年

# 岡内 ひかり

HIKARI OKAUCHI

### ■プロフィール■

南海放送アナウンサー。  
松山市出身、在住。1995年(平成7年)9月27日生まれ。血液型B型、てんびん座。愛光高等学校、中央大学卒業。2018年南海放送入社、ラジオ制作部所属。2020年アナウンス室所属。趣味は釣り、キャンプ、旅行、音楽ライブ。

- ◆南海放送テレビの担当番組  
「もぎたてテレビ」 毎週日曜、11:45~12:50  
「元氣！ えひめ農業」 奇数月各1回日曜、16:00~16:30  
「キラリ☆夜なカフェ」 毎週金曜(木曜深夜)、0:54~1:04  
「大好き!まつやま」 毎週火曜、20:54~21:00
- ◆南海放送ラジオの担当番組  
「週刊 みきゃんラジオ」 毎週土曜、11:10~11:20



▲すくすく育つ家庭菜園のモロヘイヤ

月を経て実現しているとは！  
人生って不思議です。（悟るには早すぎますね！笑）  
少し知識が増えると見方が変わってくるものですね。これまで何気に通って過ぎていた畑も、気になって見るようになりまして。何が植わっているかが分かるようになっただけでも楽しいです！同時に、農作物を育てるには、土壌・天候・動物・虫など気にかけることがとても多

く、改めて農業をされている方は凄いと感じました。先日カラッと晴れた日に、水をあげたものの葉がしおれて焦り…結局原因は分からず。農家の方は毎日自然と向き合いながら作業をされていることを体感しました。食卓の「いただきます」にも、ますます力が入ります。  
さて、家庭菜園にハマっている人は多くいるようで、最近家庭菜園ブームだという記事をよく見かけます。農業をやりたいという声も聞くようになり



▲トマト農家の吉岡ご夫妻と。『元気！ えひめ農業』7月18日放送より（右端が岡内さん）

ました。着実に、若い世代でも農作業が身近になってきているなあと、嬉しいです！先日、同い年・25歳の農家さんにお話を伺う機会がありました。西予市のトマト農家・吉岡ご夫婦。なんと、お二人とも出身は愛媛県ではなく、移住してトマト農家をされているそうです！三棟もののビニールハウスで、丁寧に育てられていました。早朝から夜遅くまで夢中になって作業をすることもあるようで、毎日楽しみながら頑張っている様子に刺激をもらいました。これから、ベテラン農家さんに憧れて吉岡さんのような若い世代も増えていくんだろうなと思うと、未来が楽しみです。

「愛媛の農業の未来を応援しています！」が『元気！ えひめ農業』のテーマです。つい気分が落ち込みがちな時期ですが、テレビ・ラジオ番組を通して、少しでも心が明るくなる話題をお届けしていきます。…正確には、必死にお伝えする様子を温かく見守っていただければと思います！

最後になりましたが、これまで目を通してくださった方々、ありがとうございます。そして、これからも宜しくお願いします！

# 「JA全農えひめPresents 山瀬理恵子の オンラインでアス飯®」配信スタート!!

- ・オンラインでアス飯♪  
【はだか麦のっておき  
カラフルサラダ】篇



- ・オンラインでアス飯♪  
【はだか麦の簡単参鶏湯】篇



JA全農えひめ presents

山瀬理恵子の

アス飯®

オンラインで

## JA全農えひめ Presents 山瀬理恵子のアス飯®とは

サッカー元日本代表・現J2愛媛FC山瀬功治選手の妻で料理研究家の山瀬理恵子さんとMC山崎愛さんが毎週、健康を維持するための栄養素や「食」の大切さについてトークを繰り広げます。

【放送時間】 毎週木曜日 12:05~12:15  
(「noonday pop」内)

【放送局】 FM愛媛



アス飯公式→  
Instagram  
発信中です♪

FM愛媛で現在好評放送中の「JA全農えひめ Presents 山瀬理恵子のアス飯®」でお馴染みの山瀬さんと山崎さんが、動画配信をスタートしました。動画では毎回愛媛県産の農畜産物を使った料理レシピと栄養のポイントを紹介します。第1回目は愛媛県産はだか麦を使った「簡単参鶏湯」と「とっておきカラフルサラダ」を調理します。また、参鶏湯篇にははだか麦生産者の徳永さんも登場♪是非ご覧ください!

# 「2021-2022 JA全農 1 day仕事研究」を開催!!

## 愛媛県開催日程 (予定)

### 〈基礎編〉

1	令和3年9月10日	9:00~12:00
2	令和3年10月8日	9:00~12:00
3	令和3年11月12日	9:00~12:00
4	令和3年12月10日	9:00~12:00
5	令和4年1月21日	9:00~12:00

### 〈応用編〉

1	令和3年11月12日	13:00~17:00
2	令和4年2月18日	13:00~17:00

※応募者多数の場合は書類選考を実施します。  
また、応用編の参加は基礎編の受講が必須です。  
※上記日程以外でも全国各地で開催予定です。

JA全農えひめは、大学・大学院に在学中の方を対象に「2021-2022 JA全農 1 day仕事研究」をJA愛媛で開催します。  
この取り組みは、学生に本会業務の理解を深め、就職活動に役立ててもらおうと毎年実施。「基礎編(ビジネスマップ作製ワーク)」と「応用編(購買・販売事業体感ワーク)」をそれぞれ開催します。  
第1回目の「基礎編」は9月10日に実施予定です。  
応募方法は次の通りです。  
■応募方法  
JA全農ホームページからエントリーを行い、参加希望日と地域、エントリー情報を登録。  
↑エントリーページはこちら



↑エントリーページ  
はこちら

📷 松山市で全農WCBF少年野球教室開催

## 元プロ野球選手が子どもたちを熱血指導

WCBF(財団法人世界少年野球推進財団・王貞治理事長)が主催する「JA全農WCBF少年野球教室」が、西崎幸広さん(日本ハムOB)など元プロ野球の名選手4人を講師に迎え、6月26日、松山市坊っちゃんスタジアムで開かれました。



講師の指導を真剣に聞く子どもたち

同教室は、JA全農が子どもたちの健やかな心身の成長と未来の夢を応援するため特別協賛し、全国の野球を愛する小・中学生と少年野球指導者を対象に開催しており、愛媛県では2012年の新居浜教室以来、3回目。松山市内の少年野球チーム5チームから55人が参加しました。

同教室では西崎さんのほか、田村藤夫さん(日本ハムOB)、駒田徳広さん(横浜OB)、鈴木尚広さん(巨人OB)が、「投げる」「捕る」「打つ」「走る」の基本技術とコツを指導。子どもたちは、「元氣良く」「うまくできたよ」と励ましを受けながら、元プロ野球選手のアドバイスを真剣に聞いていました。

開会に先立ち、王理事長が、「教えてもらったことを繰り返し続けることが大切。大いに頑張っ、元気に野球教室を楽しんでください」と音声メッセージで参加者を激励しました。

同日には、監督を対象にケガ予防のためのトレーニング法や指導方法を教える「指導者講習会」、スポーツを行っている子ども達の保護者を対象にした「栄養学教室」も開催。参加者から好評を博しました。

📷 営農シーンでオンラインツールの活用を

## オンラインスキルアップ等研修会を実施

JAグループ愛媛担い手サポートセンター連絡協議会は、6月30日に「オンラインスキルアップ等研修会」を開催しました。

この研修はZOOM等のオンラインツールの使い方を学び、営農場面での活用を進めることを目的に実施。県内各JAの営農指導員や県職員ら32名がJA愛媛ビルおよびオンライン上で参加しました。アナウンスハウス松山(份)の福井一恵氏を講師に招き、ZOOMの基礎知識や活用方法、トラブル時の対処方法などについて実例を交えながら解説。参加者からは「実例を交えながら分かりやすかった」、「現場で迅速な情報共有ができ、指導の幅が広がる」と好評を受けました。

営農支援課は、「コロナウイルス対応のため、現地での説明や集合研修などが実施しづらい状況にあります。オンラインという新しい手法について理解を深めてもらい、県内の担い手育成や労働力支援に活用して欲しい」と営農場面でのオンラインツール活用に期待を寄せています。

📷愛媛の夏野菜がてんこ盛り！

## 県オリジナルカレーレシピが誕生！

J A全農えひめは、愛媛県やハウス食品(株)と協力し、県産野菜やだか麦などを使ったオリジナルカレーレシピ「笑顔いっぱい、えひめの彩り夏野菜カレー」を発表しました。

このレシピはカレーを通じて県産野菜等のPRを行うことを目的に開発。レシピには、県産のトマトや長なす、甘長とうがらしやだか麦などを使用し、愛媛の彩りが盛りだくさんのカレーに仕上がっています。



レシピカードを掲げる中村知事（中央）



レシピはコチラ

7月6日には、J A全農えひめとハウス食品(株)が中村時広県知事を訪問し、県オリジナルカレーの試食会を行いました。

中村知事は「愛媛県は食材が豊富で、それを知っていただくきっかけになりました。コロナ禍でも家庭で皆さんが楽しんでもらう機会になれば」と語りました。レシピは、ハウス食品(株)のホームページで公開中。また、県庁食堂でも数量限定で販売されます。

📷令和2年産冬春野菜出荷反省会

## 共販量は前年比98%、販売金額は101%

J A愛媛野菜生産者組織協議会とJ A全農えひめ野菜花卉課は、7月9日、J A愛媛クリスタル

ホールで、令和2年産冬春野菜出荷反省会と令和3年産の生産対策会議を開きました。対象品目は、レタス・ブロッコリー・キャベツ・ほうれん草・冬春きゅうり・一寸蚕豆・白ねぎの7品目。会議には、品目部会長・J A・市場・行政関



係者ら46人が出席。また、県外の市場関係者についてはオンラインでの参加となりました。

令和2年産冬春野菜の出荷量は3,354トンで計画比98%、前年比98%。販売先の要望に因應するため生産振興対策を実施し、5品目で約7.1haの増反となりましたが、長梅雨による天候不順や夏の気温高騰により出荷量は減少しました。販売では、企画販売や値決め販売の取り組み継続、週間産地情報の適宜発行などにより、平均単価264円(前年比103%)、販売金額884百万円(前年比101%)となりました。

分科会では出席者から、作付面積の維持拡大とロットの確保、期間を通じた長期安定出荷、的確な産地情報の発信や高温期の品質対策など令和3年産に向けた生産・販売の課題や対策について、積極的な意見交換が行われました。

令和2年～3年産いちご出荷反省会・生産対策会議

## 令和3～4年産いちごの品質・反収向上を

J A愛媛野菜生産者組織協議会とJ A全農えひめ野菜花卉課は、7月16日、松山市のJ A愛媛別館で、令和2～3年産いちご出荷反省会・生産対策会議を開きました。

愛媛産のいちご販売実績は、出荷量が863トン（前年比99%）、kg単価1,058円（前年比98%）でした。

令和2～3年産は、3月下旬の高温や例年より早い梅雨入りで過熟・痛みが発生したことで早期に出荷を終了した産地も多く、5月以降の出荷数量は例年より少なく推移しました。

令和3～4年産については、病害対策や優良園地の視察等による反収向上、適正な収穫や温度管理、規格の統一などによる品質向上、県内いちご部会での品種統一の検討といった方針を打ち出しました。また、令和3年産出荷からレギュラーパックは250gへ完全切替を行い、県内の出荷パック数増加を目指します。

第47回乾椎茸品評会

## 成高王洋さんが13年連続で最優秀賞！

愛媛県椎茸同志会主催の第47回乾椎茸品評会が、5月24日、大洲市のJ A愛媛たいき椎茸選果場で開催。品評会には春子26点が出品され、同志会会長の成高王洋さん（J A愛媛たいき）が13年連続で最優秀賞（全農会長賞）を受賞しました。

今年の春子の作況（四国）は、2月下旬の急激な気温上昇と適度な降雨により、前年比105%の見込み。

なお、新型コロナウイルス感染症対策として、同志会総会は書面での開催となりました。その他の主な入賞者は次の通りです（敬称略・かっこ内はJ A名）。



▽優秀賞Ⅱ高橋茂行（ひがしうわ）、高橋征敏（同）▽1等賞Ⅱ河内遼一（愛媛たいき）、久保勝利（同）、大和田孝（ひがしうわ）▽2等賞Ⅱ矢野欣一（愛媛たいき）、武田秋重（ひがしうわ）、▽3等賞Ⅱ白石福吉（愛媛たいき）、岡中勝彦（ひがしうわ）

第54回全農乾椎茸品評会

## J A全農えひめが団体の部で準優勝

J A全農主催の第54回全農乾椎茸品評会が、6月26日、埼玉県久喜市で開かれました。品評会では、団体の部でJ A全農えひめが準優勝したほか、個人の部で8人が入賞しました。

今回は全国20県から610点、うち愛媛県からは13点を出品しました。愛媛県の入賞者は次の皆さん（敬称略・カッコ内はJ A名）。

▽林野庁長官賞Ⅱ〈大葉中肉の部〉成高王洋（愛媛たいき）、〈中葉厚肉の部〉高橋茂行（ひがしうわ）、〈大葉中肉の部〉高橋征敏（同）▽全農会長賞Ⅱ〈中葉厚肉の部〉久保勝利（愛媛たいき）、〈中葉中肉の部〉河内遼一（同）▽日本きのこセンター理事長賞Ⅱ〈中葉中肉の部〉大和田孝（ひがしうわ）、〈中葉厚肉の部〉武田秋重（同）▽全和会会長賞Ⅱ〈大葉中肉の部〉矢野欣一（愛媛たいき）

## ◎愛媛県産はだか麦を食べよう！特別販売会 エミフルM A S A K Iではだか麦新商品の 販促イベントを開催

J A全農えひめと愛媛県は、「愛媛県産はだか麦を食べよう！特別販売会」を伊予郡松前町のエミフルM A S A K Iで7月11日に実施しました。

販売会は、34年連続生産量日本一の愛媛県産はだか麦のさらなる消費拡大を図ることを目的に実施。料理研究家の中村和憲氏が「は



はだか麦のパエリアを調理実演

だか麦のパエリア」や「はだか麦のコンソープ」等のはだか麦を使った料理を実演したほか、県内6事業者がはだか麦新製品等18商品を販売しました。

来場者からは「はだか麦にはいろいろな食べ方があると知った」「はだか麦料理がおいしそう」「レシピを使って作ってみたい」と好評を博しました。

また、7月7日には、中村時広県知事を訪問し、はだか麦新商品の報告会を実施。はだか麦の新商品等を紹介したほか、はだか麦のバックご飯や味噌汁、はだか麦のう麦茶の試飲を行いました。

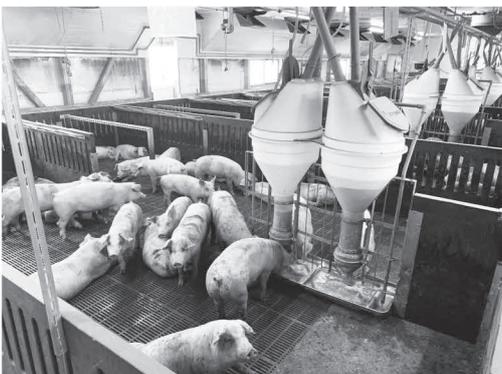
中村知事は、「はだか麦は県内企業の社員食堂での活用等消費拡大に協力してもらっている。供給対策もしっかりと取り組んでいきたい」と話しました。

## ◎令和3年度 酒井ピッグファーム畜舎賃貸事業キックオフ会議 進捗報告 管内家族経営者支援の取り組みについて

J A全農えひめは、7月2日、J Aえひめ南鬼北支所で「令和3年度 酒井ピッグファーム畜舎賃貸事業キックオフ会議」を開催。

J A全農えひめが酒井ピッグファームに賃貸している肥育豚舎について、施設や豚の肥育状況の報告などを行いました。

肥育豚舎の賃貸は、県内家族経営農家の生産基盤の維持拡大につ



子豚育成舎の様子

なげることを目的に実施。改修・新築した繁殖・子豚生産農場と肥育農場の賃貸を行っています。

繁殖・子豚生産農場は、令和2年11月末に施設改修が完了し、種付け・分娩・子豚育成を順調に行っています。また、令和3年3月に完成した肥育農場は、4月より繁殖農場から子豚を受け入れ肥育を開始しており、5月下旬から肉豚出荷が始まっています。

J A全農えひめ畜産部は、「本事例は全国でも先進的な取り組み。県内家族経営者の優良モデルとなることを期待している」と話しています。

就農相談会を実施

就農希望者の悩みを解決

JAグループ愛媛担い手サポートセンター連絡協議会は、7月14日に開催された「えひめ就農・労働力マッチング相談会」で就農・労働力支援の相談を受けました。当日は新たに就農を志す会社員や地元農業高校の学生らが来訪し、就農に対する悩みや手続きなどの相談に対応しました。

JA全農えひめ営農支援課は、「新型コロナウイルスの影響で、地元に戻り就農したいという希望や、地元パート・アルバイトの高齢化による労働力確保の相談が増えている。それぞれの抱える様々な悩みに対応することで、就農人口の増加や安定的な労働力確保につなげたい」と話します。



「えひめ就農・労働力マッチング相談会」は（公財）えひめ農林漁業振興機構が主催するイベントで、8月7日に中予、8月28日に南予でそれぞれ開催されます。

愛媛県JA農機協同事業体調印式・出発式を開催

県内のJA農機事業を一体化

JA全農えひめは、県内4JA（JAうま、JAえひめ未来、JAおちいまばり、JA今治立花）と共に「愛媛県JA農機協同事業体」を発足しました。

この事業体は、JA農機事業のサービス力向上や購買力の強化、業務の標準化を目的に設立。県内4JAとJA全農えひめが一体となって農機協同事業を組成し、効率的な体制の構築を目指します。

事業体では、推進担当・修理担当の専任化や

修理整備工賃の適正化、中古農機査定価格の統一化などを行い、各農機センター推進体制の強化を図ります。

事業体発足に伴い、6月11日に各JA代表者による調印式を実施しました。JA全農えひめによる調印式を実施しました。JA全農えひめ 関岡光昭県本部長は「農機の安定供給と修理整備対応が農機事業の使命。『人』『物』『金』『情報』の4つの経営資源を県域に集約し、業務の平準化・統一化・一元化を実現し、組合員の営農支援に繋げたい」と語りました。



左から篠原一志組合長（うま）、加藤尚組合長（えひめ未来）、黒川俊継理事長（おちいまばり）、岡林興通組合長（今治立花）、関岡県本部長（JA全農えひめ）



決意表明を行う太田センター長

また、7月1日には出発式を開催。農機課総勢40名を代表して、JAおちいまばり農機センターの太田裕次センター長が「変化を恐れず、組織の枠を超えた改革に取り組みたい」と決意表明しました。

● 農の風景・トピックスを読んで。生産量日本一を誇るはだか麦。私はコレステロール値を下げるために病院の薬やサプリにいつも頼っていましたが、こんなにいい食材が愛媛にあったことを初めて知りました。はだか麦を使った商品を利用させていただきます。

(今治市：阿部節男さん)

● 愛媛県産はだか麦の魅力をこれからももっと発信していきたいと思っています。はだか麦商品も是非買ってみたい！

● 特集を読んで。コロナの拡大を受けてなのか、日常の物が次々と値上がりしていき、年金では生活が成り立たない実感を味わっています。JAの取り組みに期待したいです。

(今治市・PN：しま娘さん)

● 昨今の経済環境を鑑みると、農畜産物の価格安定化を図ることや、農家手取りを上げていくことは急務であると考えています。JA全農えひめは農家手取り最大化プロジェクトを着実に実践し、地域農業の振興に貢献していきます。

● 昨年、田んぼが“反枯れ”という状態になったのだと思います。せっかく実ったのに…。今年は防除できればいいなと思います。

(今治市・PN：F・Aさん)

● 昨年は私の実家や近所も、トビイロウンカで大きな被害を受けてしまいました…。ですので、ピラキサルト™を含んだ新たな箱処理剤の効果は、私自身も大変期待しています！

● さっそく「はだかんぼう麦茶」買って飲んでみました。おいしかったです。今から暑くなりますのでまた飲みたいと思います。

(四国中央市・PN：ともちゃんさん)

● 「はだかんぼう麦茶」を買っていただきありがとうございます。「はだかんぼう麦茶」の香りと後味は中々癖になりますので、まだ飲んだことのない方も是非飲んでみてください！

● あぐり〜ど6-7月号の表紙大好きです。強烈ではないのですが、鮮やかさがあり、1つ1つ目で味わいました。伊予なす、松山長なす、絹かわなすと、今年の夏はなす料理で食卓がにぎわいそうです。

(西条市：白木泰子さん)

● 6-7月号の表紙は、色合いもよかったです。一番の決め手はなによりもおいしそうなお話でした(笑)。今月号の料理でも、3種類の県産なすを使った料理レシピを紹介していますので、是非試してみてください！

● エッセイを読んで。最近旅行にも行けずとても残念です。早くコロナが落ち着いていろいろな場所に行きたいこの頃です。とても楽しいお話ありがとうございました。

(松山市：松本里香さん)

● 確かなかなか県外に出られないのは大変ですね。県外の友達とも直接会う機会がほとんどなくなってしまいました。そんな中でも岡内さんの友人や家族と食材を贈りあうというのは目から鱗でした。私も早速試したいと思います！

## 編集後記

コロナで2転3転した東京オリンピックですが、何とか無事開催されました。開会式も、前日にショーディレクターがクビになったり、作曲担当が辞任したりと、いろいろ波乱の幕開けでしたが、国内ゲームのBGMがふんだんに使われていた開会式は、ゲーマーの私的にはかなり良いものでした。

8月24日からはパラリンピックが開催されます。以前あぐり〜どでも紹介した、競泳の山口尚秀選手も出場されますのでしっかり応援したいと思います！

(純)

## 今月のクイズ

「えひめの食」企画が提供する新TV番組のタイトルは？

JA全農えひめ／えひめ愛フード推進機構Presents  
「"〇〇〇"をいただきます！」

### プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を10名様にさしあげます。



### 応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。

### 締切り

2021年9月15日(当日消印有効)

### 発表

「あぐり〜ど」10-11月号で発表します。

### 当選者発表

6-7月号の答えは「第63代目」でした。たくさんのお便りありがとうございました。厳正な抽選の結果、次の10人の方に図書カード1,000円分をお送りします。

有田元一郎さん (松山市)  
小倉 朝美さん (松山市)  
伊達 詩織さん (松山市)  
田所 国威さん (松山市)  
高橋 智茂さん (松前町)  
川上 壮佑さん (東温市)  
近藤 恵太さん (東温市)  
山田 国昭さん (内子町)  
川崎 巖さん (八幡浜市)  
佐々木長一さん (宇和島市)

NOW NOW

COOKING

今月の素材

なす

(伊予なす、松山長なす、絹かわなす)



見極めは、ヘタのトゲが鋭くて、弾力とハリ・ツヤのある「なす紺」カラーを!

▶ (右上) 松山長なすとしらすの冷製パスタ、(右下) 伊予なすと夏野菜のピクルス、(左) 絹かわなすのピザ仕立て



指導/愛媛調理製菓専門学校 山崎 翔 先生

絹かわなすのピザ仕立て

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約183kcal

絹かわなす	1本
タマネギ	1/4個
スライスベーコン	2枚
トマトソース	100g
粉チーズ	50g
パセリ	適量
塩	適量
サラダ油	適量

〈作り方〉

- ① なすを1.5cm幅に切り、表面に油を塗り、薄く塩を振る。
- ② タマネギを薄切り、ベーコンは5mm幅に切る。
- ③ ①にトマトソースを塗り、タマネギ、ベーコン、チーズの順にのせ、200°Cのオーブンで6~7分焼く。
- ④ みじん切りにしたパセリを散らす。

松山長なすとしらすの冷製パスタ

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約299kcal

松山長なす	2本
しらす	120g
カップリーニ	320g
青ねぎ	8本
ポン酢	50cc
水	150cc
ゼラチン	8g
オリーブオイル	50cc
④ 醤油	大さじ2
④ 塩	適量

〈作り方〉

- ① 焼きなすを作り、皮をむき、2~3cm幅のぶつ切りにする。
- ② 青ねぎは小口に切り水にさらす。
- ③ ゼラチンを水でふやかし、温めたポン酢に入れ、ジュレを作る。
- ④ 1%の塩が入った湯でカップリーニを湯がき、氷水で冷ます。
- ⑤ ④で下味をつけ、①としらすを加え和える。
- ⑥ 皿に盛り、③と水切りをした②のをせる。

伊予なすと夏野菜のピクルス

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約224kcal

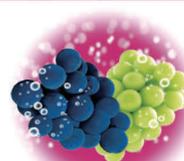
伊予なす	1本
赤・黄パプリカ	各1/2本
キュウリ	1本
ミニトマト	8個
水	200cc
白ワインピネガー	400cc
グラニュー糖	100g
はちみつ	20g
鷹の爪	1本
塩	適量

〈作り方〉

- ① なすは1cm幅の半月切りにする。
- ② パプリカは5mm幅の棒状に切り、キュウリは乱切りにする。
- ③ ミニトマトは湯むきして皮をむく。
- ④ なすとパプリカはフライパンでサッと火を通す。
- ⑤ ④を鍋でひと沸かし、野菜を入れた容器に注ぎ、一晩寝かせる。

POM  
ポン  
グレープ  
SPARKLING

濃厚な「赤ぶどう」と  
すっきりとした味わいの「白ぶどう」を  
ブレンドしています。  
濃厚で優しい甘みの果汁のおいしさを  
果汁30%と高果汁に仕上げた炭酸飲料で  
お楽しみいただけます。



株式会社 えひめ飲料

〒791-8603 松山市安城寺町478番地  
TEL: 089-923-1500 FAX: 089-923-1522

https://www.ehime-inryo.co.jp  
(通販専用) https://www.pom-j.com



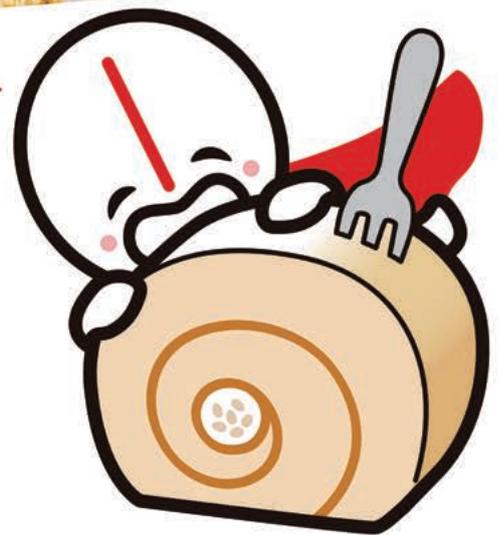
食物繊維たっぷり、  
おいし〜さし〜っかり！

生産量  
日本一

# 愛媛のはだか麦

愛媛のはだか麦は  
生産量日本一を誇る特産物のひとつ。  
はだか麦は昔から、  
麦みそや麦ごはんなどに使われており  
食物繊維は白米の10倍以上含まれています。<sup>※</sup>  
最近では焼酎やビール、パンなどの  
新製品も開発されています。  
そんな万能選手「愛媛のはだか麦」を  
毎日の食に取り入れて  
美味しい食生活をエンジョイしましょう！

※日本食品標準成分表2020年版(八訂)より



美味しい！はだか麦スイーツ

JA全農えひめ／JA愛媛米麦生産者組織協議会

